

# 農業共済新聞 2017年6月28日付

## 業界短信

児童たちと一緒に  
田んぼの生き物調査

宮城県・JAあさひな

宮城県のJAあさひなは、

13日、今年で6回目となる「田



んぼの生き物調査」を実施した。大手農薬メーカーの三井化学アグロ株式会社への支援の下、児童たちが管内の水田（環境保全米生産圃場）に生息する生き物の調査に取り組んだ。

当日は、大和町立鶴巣小学校3年生の児童16人が参加。一人ずつ網と飼育箱を持ち、はだしで田んぼに入り、約1時間かけてカエルやアメンボ、タニシ、ザリガニなどを採取し、水田の多様性を確認した。写真。

調査に引き続き、圃場そばのテントでは青空教室が開かれた。児童たちは、田んぼで見られる生き物の特徴や、食物連鎖の重要性についての話を聞き、身近な生き物への興味関心を深めていた。